

マンションを大雨・豪雨や 河川の氾濫から守る

ライフラインを地震から守るための対策 5

浸水対策編



頻発する大雨・豪雨による「浸水」
不安を抱えている今、
万全な対策を

ソフト面からの浸水対策

ハード面からの浸水対策

ソフト面からの浸水対策

居住している市・区が発行している「ハザートマップ(浸水想定域)」で、我がマンションが浸水した場合に想定される浸水深を知っておきましょう。

ハザートマップ(浸水想定域)の検索方法

市・区のハザートマップから検索

- ①市・区のホームページを検索
- ②キーワードの「ハザートマップ」を検索
- ③各種ハザートマップをダウンロード
(例として、「内水氾濫ハザートマップ」を検索)
- ④当該マンションの住所をハザートマップにプロットし、浸水深を確認

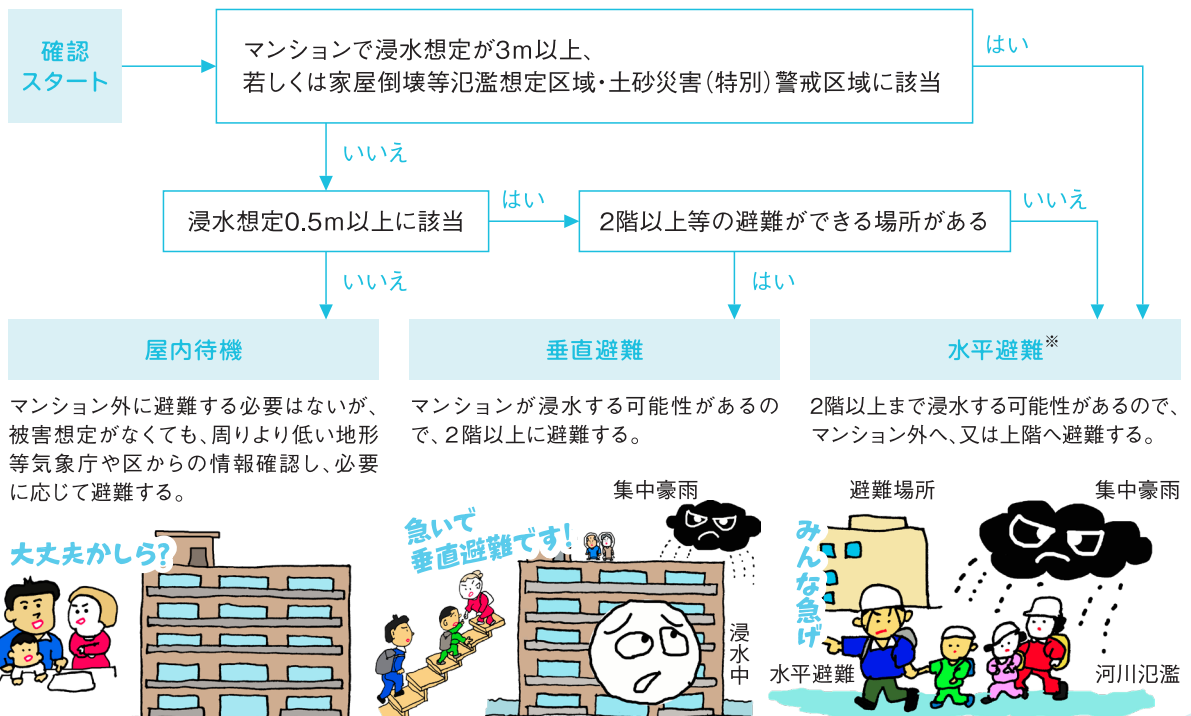
浸水深 (m)	20m～
	10～20m
	5.0～10m 2階の屋根以上が浸水する
	3.0～5.0m 2階部分まで浸水する程度
	0.5～3.0m 1階天井まで浸水する程度
	0.0～0.5m 大人の膝までつかる程度

ハザードマップポータルサイトから検索 (国土交通省が運営)

- ①「ハザードマップポータルサイト」を検索
<https://disaportal.gsi.go.jp/>
又は「ハザードマップ」で検索
- ②「住所から探す」に住所を入力
又は「地図から探す」に地図を見るを検索
- ③災害種別で選択を「洪水・内水」を選択
- ④当該マンションの住所を
ハザートマップにプロットし、浸水深を確認

下図のフローチャートを確認し、マンションの避難方法を検討しましょう。

〈警戒レベル4までに必ず避難〉



※台風が直撃しているなど水平避難がかえって危険となる場合は、垂直避難を行ってください。

マイ・タイムライン作成のお勧め

マイ・タイムラインとは

災害時の避難についての知識を学ぶこと。

災害時の取るべき行動を決めておくこと。

一人一人が自分のタイムラインを作成し、自分の行動を決めておくこと。

災害における知識、防災について考えるきっかけにすること。

マイ・タイムライン使用時の心得

あくまで行動の目安として認識すること。

気象警報や避難情報等をこまめに収集・確認する。

収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、
臨機応変に防災行動の実行を判断する。

マイ・タイムライン作成例 出展：大田区ホームページより

災害発生までの
時間の目安

行政から発信する情報

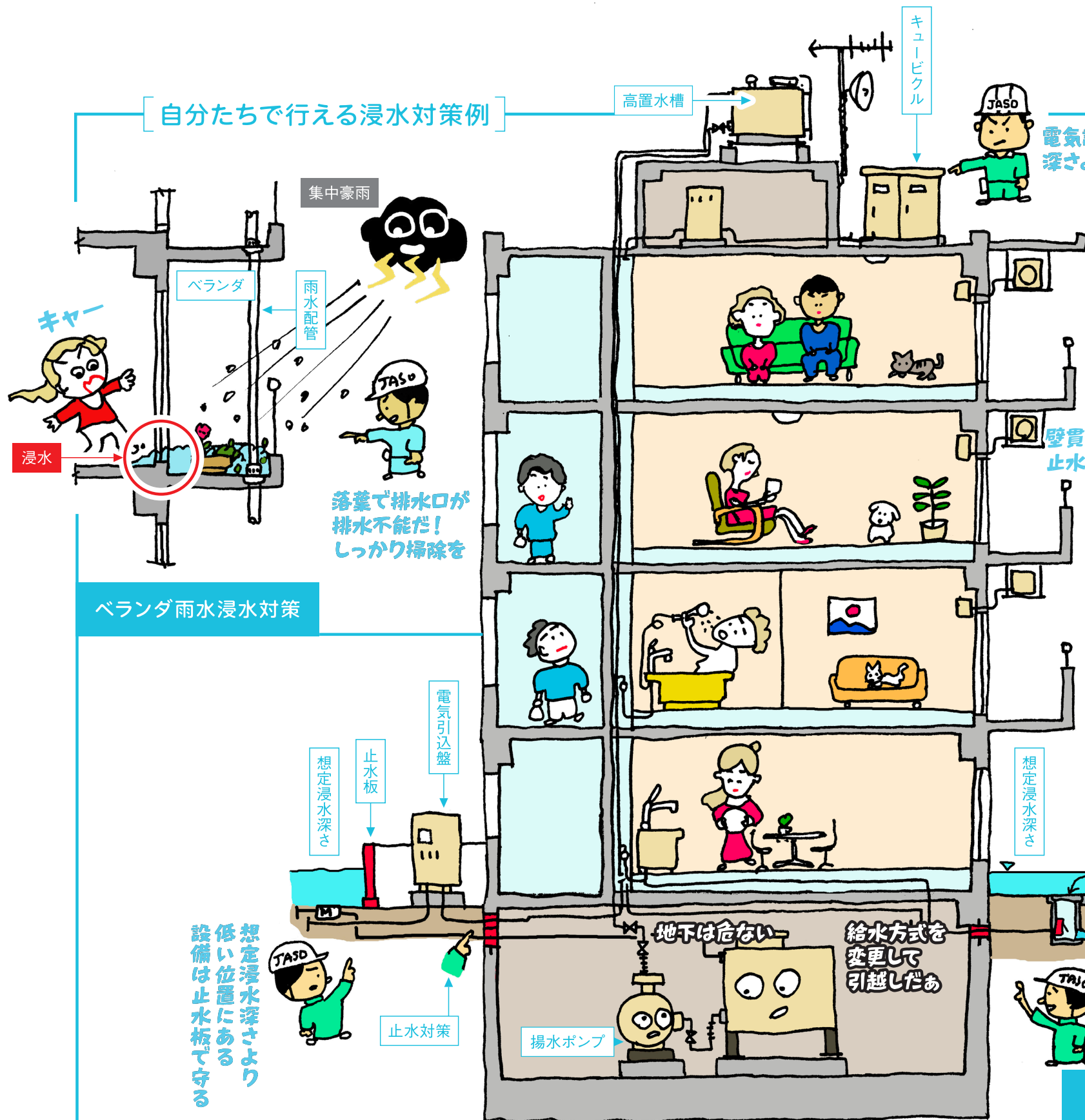
主な備え（マイ・タイムライン）

3日前	台風予報・台風に関する 東京都の気象情報	今後の台風を調べ始める
2日前	大雨注意報・洪水注意報	避難するときにもっていくものを準備する
1日前	大雨警報・洪水警報	
半日前	氾濫警戒情報	住んでいる場所と上流の雨量と 川の水位を調べ始める
5時間前	氾濫警戒情報 警戒レベル3	避難しやすい服装に着替える
3時間前	氾濫危険情報 警戒レベル4	安全なところへ移動を始める
0時間前	氾濫発生情報 警戒レベル5	避難完了

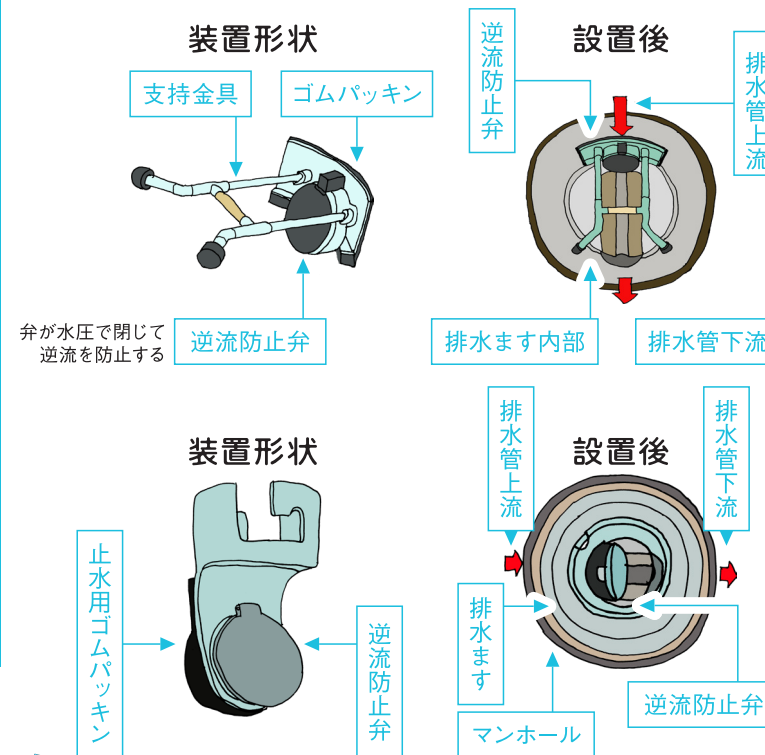
※災害発生の時間の目安は1例であり、住んでいる地域・場所により変化するものである。

大雨・豪雨による浸水被害を防ぐためにはどうすればよいか？

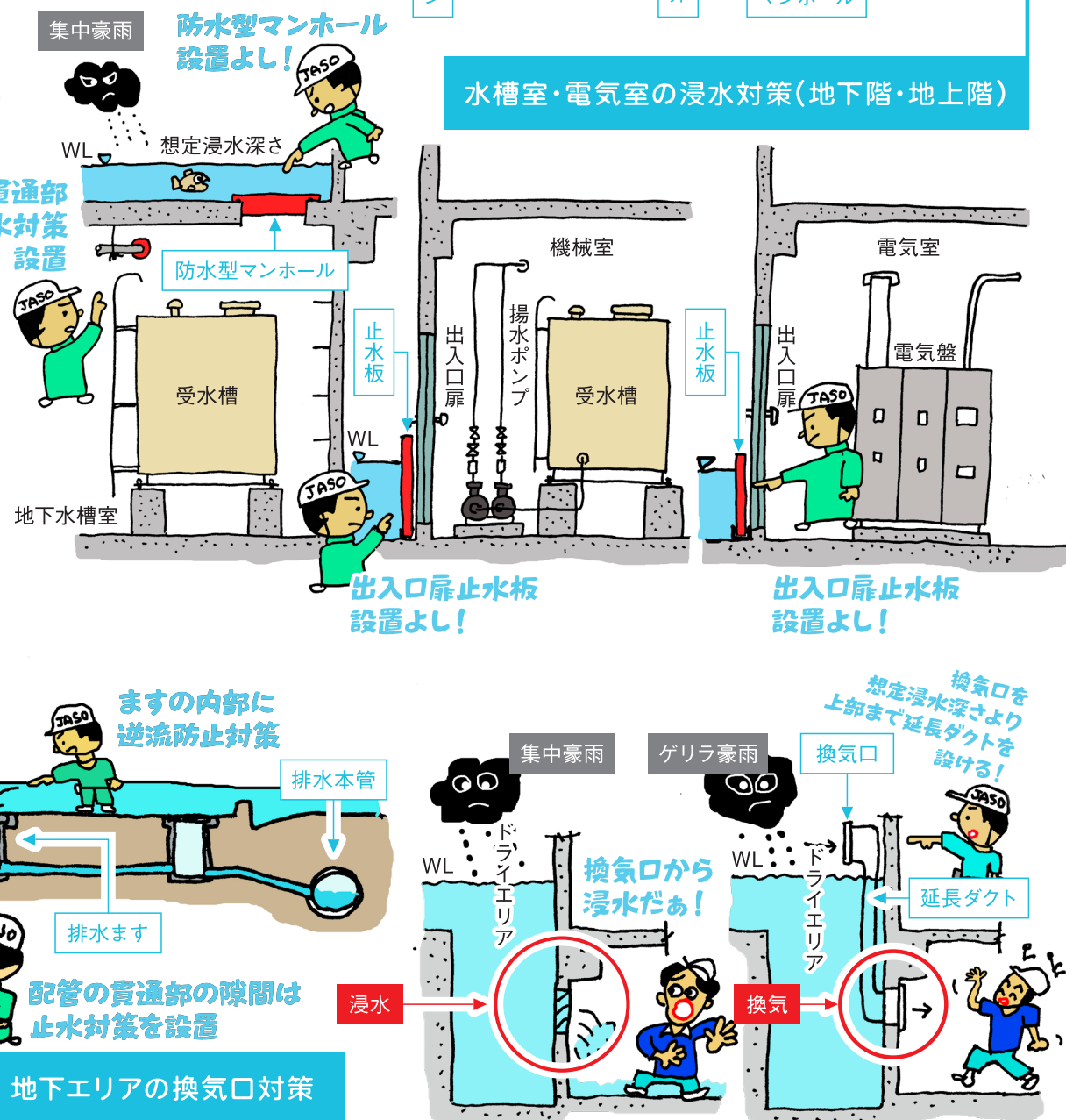
自分たちで行える浸水対策例



逆流防止弁などを敷地内の排水ますに設置



水槽室・電気室の浸水対策(地下階・地上階)



水害の不安を感じたら...

- 最近ゲリラ的な雨が降るので浸水しないか不安だ
- どこまで浸水してしまうのだろう
- 浸水したらこの地域、建物はどのような状況になってしまうのか
- 何から手を付けて良いか分からない
- 浸水時の設備(電気・水道・ガス・下水・エレベーター)は大丈夫なのか

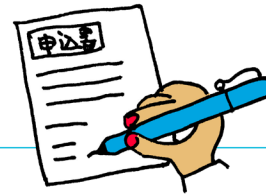
そんな時は、水害対策アドバイザー制度をご利用ください。

水害対策の道のり

ステップ 1

アドバイザー派遣申込

耐震総合安全機構「JASO」にアドバイザー派遣の申し込みを行います。
(派遣費用8万円/件より)



ステップ 2

アドバイザー派遣

アドバイザーがマンションなどに訪問して、水害に関するヒアリングを行います。
また、保管している竣工図等を閲覧の上、目視により建物の構造、設備等について確認いたします。



ステップ 3

報告書の作成

1ヶ月～2ヶ月程度のお時間をいただきます。
報告書はJASO内部の会議にかけピアチェックを行います。



ステップ 4

報告

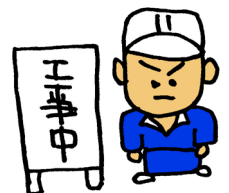
建物の想定される浸水被害の予想や、浸水に対する弱点の指摘、浸水被害対策例等の
アドバイスをさせていただきます。



ステップ 5

対策の実施

アドバイスを参考に、管理組合内で対策の方針を話しあい、具体的な対策を進めるときは、必要に応じて、建築専門家に相談し、設計・工事をおこなってください。また、同時に災害時に対応するための防災マニュアルの策定や、管理組合内での役割分担等の運用面のルールを整備し、災害時に、速やかな対処ができる準備をお願いします。



特定非営利活動法人(NPO)
耐震総合安全機構

まずは、JASO(耐震総合安全機構)へご連絡ください。

JASOは建築・設備・構造の専門家で構成されています。
水害対策のアドバイスでは建築の各分野の多面的視点からアドバイスを行います。

本部 現地案内図

本部
〒112-0003
東京都文京区春日2-10-15
志知ビル3階
TEL 03-5654-5765
FAX 03-5654-5766
E-mail info@jaso.jp
URL https://www.jaso.jp

近畿支部
〒541-0051
大阪府大阪市中央区
備後町2-5-8 絹業会館4階
(公社)日本建築家協会
近畿支部内
TEL 03-6912-0772
FAX 03-6912-0773

東海支部
〒464-0075
愛知県名古屋市中千種区
内山1-17-17
TEL 052-733-2887
FAX 052-733-2481

